



のぞみ信用組合の現状

Disclosure
2025

のぞみ Disclosure 2025

概要

資料編

■ 概要 ■

設立 昭和27年6月24日
(開業:昭和27年7月21日)
出資金 3,267百万円
組合員 51,669人
店舗数 14店舗
役員 210名(うち、常勤役員9名)
営業区域 大阪府全域
(令和7年3月末現在)

■ 沿革 ■

昭和27年6月 大阪化繊取引所及び大阪三品取引所の会員による
職域信用組合として事業認可
昭和27年7月 大阪商業信用組合として事業開始
昭和28年7月 職域信用組合から地域信用組合へ変更
営業区域を大阪府内一円に拡張
昭和37年9月 本店を大阪市中央区東高麗橋2番35号に移転
平成16年1月 大阪庶民信用組合と合併し、のぞみ信用組合に
名称変更
平成16年5月 本店を現所に移転(大阪市中央区内本町2丁目3番5号)



■最寄駅 地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅下車
13番出口を東へ徒歩5分
地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車
3番出口を西へ徒歩5分

Contents

概要・沿革	1	取引時確認のお願い	19
ごあいさつ・経営理念・行動指針	2	振り込み詐欺救済法について	19
令和6年度 事業の概況	3	預金者保護法への対応について	20
第73期通常総代会の開催、		A T Mオンライン	
総代会制度について、総代選挙について	5	ネットワークサービスについて	20
お客様アンケート調査について	7	適切な勧誘・募集について	21
地域・社会貢献活動	10	組織図、役員体制、会計監査人の名称	22
地域密着型金融の取り組み	11	手数料一覧	23
のぞみ信用組合「SDGs宣言」	13	主要な事業のご案内	24
第7次中期経営計画	15	主要な商品のご案内	25
経営管理について	16	店舗等一覧、営業区域・店舗の状況	27
マナー・ローンダリング、テロ資金供与		資料編	28
及び拡散金融対策に係る基本方針	18	索引	50

ごあいさつ

平素は、のぞみ信用組合に格別のご愛顧、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

本年も、ディスクロージャー誌「のぞみ2025」を作成いたしましたので、ご高覧いただき当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

さて、令和6年度の日本経済は、コロナ禍を脱却した社会経済活動が正常化する中で、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

当組合の主要取引先である中小・小規模事業者の事業環境は、高止まりする物価や人手不足への対応等を背景に依然として厳しい状況にあり、混迷を深める中東・ウクライナ情勢や米国の相互関税措置、中国をはじめとする海外経済の動向により、先行きは不透明感が増しております。金融行政にあつては、令和6年3月の日銀金融政策決定会合においてゼロ金利政策が解除され、その後2回の政策金利の引き上げにより、金利ある世界に移行しました。

このような環境下、第7次中期経営計画の初年度としまして、営業店と本部が一体となり取引先見学を行い、現場に足を運び、業務内容や商流、経営課題の把握に努めた上で、課題解決に向けた提案をさせていただきました。地域経済への貢献としては、引き続き大阪府の「子ども輝く未来基金」を継続的に支援することを目的に、社会貢献型定期預金を販売し、同基金に対し寄付を行ったほか、盲導犬育成事業に対する応援の一環として、社会福祉法人日本ライトハウスの盲導犬育成事業に対する寄付を行いました。外部機関との連携では、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターや大阪府よろず支援拠点と連携し、経営改善支援や事業承継の支援に努めました。営業店では矢田支店・粉浜支店の移転統合による「あびこ支店」の新設、法人営業部の本店営業部への統合を行いました。

当年度も引き続き、相互扶助の理念のもと、地域の皆様の様々な課題解決に向け全力で取り組んでまいります。

役職員一同、鋭意努力を重ねてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

理事長 平野 二三記



経営理念

地域と人にやさしいコミュニティバンクとして
中小企業・個人事業者と生活者の繁栄を願い、
きめ細かな金融サービスを通じて、
みなさまの〈のぞみ〉実現のパートナーになります。

行動指針

1. 私たちは、お客様の信頼こそが組合存続の礎と考え、法と正しい倫理に基づき、責任をもって行動します。
2. 私たちは、お客様の立場に立って考え、その真のニーズに応えます。
3. 私たちは、厳正なりスク管理の下に、健全経営を行います。
4. 私たちは、お客様と地域とのコミュニケーションを重視し、情報開示を積極的に行います。
5. 私たちは、お客様のお役に立てる金融サービスを提供するため、能力の向上に努めます。
6. 私たちは、相互信頼のもとに活力に溢れた働き甲斐のある企業風土をつくります。